

共通理解を深める中で、子ども達の9年間の成長を支援する
～富士小学校・富士見台中学校の小中連携～

I 目的と経緯

富士小学校との連携は、平成27年度よりスタートした。小中学校の教職員が知り合い、連携を図っていく中で、児童・生徒の9年間の指導に資することが目的である。この考えを中心に置き、内容については毎年見直す中で、この連携が確実な成果につながるように努めている。1年間の連携の内容は、次のとおり、大きく4つにわかれている。

1. 小中合同会議... 教務会3回、職員会議2回
2. 行事関係... 合唱交歓会、縦割り集会、体験入学2回（1回は部活動体験）
3. 学習... 『家庭学習の手引き』作成、自主学タイム（家庭学習）への取り組み
4. その他... あいさつ運動、引き渡し訓練、お互いの学校の授業参観、乗入授業、中学生による読み聞かせ、小学校運動会でソーラン節披露、学園祭招待等

II 本年度の実践 [一部を抽出] - その成果と課題 -

○小中合同職員会議 [4月7日(金)・8月17日(木)]

「小中9か年を貫く学級経営の柱」の確立を見据え、テーマ『めざす子ども像～そのために何をできるようにさせたいか』を設定して、小6と中3のゴールについて考え、小中で共有した。限られた時間の中でより充実した話し合いになるように、ICTを活用し、最初に「～ができる」という書き方で個人の考えを伝え、それを受け、「どこを大切にしていくなか」、「学級経営にどのようなことを入れていくなか」を話し合った。小中お互いの学校の学級経営について理解を深めることができたこと、また、「育てていきたい力」を共有する中で、小6から中1へ継続した指導につなげていくことができる話し合いになった。この点は、大きな成果である。現状では、小中合同教務会は年3回、合同職員会議は年2回の設定なので、話し合いは充実したものになっているが、振り返りまではできていないところが課題である。教務会がしっかり次年度へつなげていく視点を持つことが求められる。

○小中連携合唱交歓会 [10月17日(火) 富士見台中学校体育館]

富士山音楽祭の前に富士小の4年生から6年生、富士見台中の1年生から3年生が合唱を交換し合い、交流を深めた。小中合唱交歓会は、それぞれの学校での発表会とは違った学びがあると感じている。一生懸命歌う小学生に向ける中学生の温かい気持ち、「中学生ってすごいなあ」という小学生の素直な気持ち、また、中学1年生は昨年度まで関わってきた小学生に成長した姿を見せることができる喜び、小学4年生は中学3年生を見て、自分達が1年生だった時に面倒をみてくれた6年生に会えた懐かしさ、「こんなになるんだ」という気持ち等、この交歓会はとても意義のある取り組みになっている。また、それぞれの合唱を見合うことによってうまれる思いが、より良い合唱づくりにつながっている。確実に大きな成果をあげている。

2つの実践をあげたが、小中連携を継続してきた中で、「子ども理解の一貫性」「教育目標の一貫性」「学習指導の継続性」等の面での効果を実感している。今後、地域の人達との連携も深めながら、子ども達のより良い成長をみんなで支援していきたい。